

美術科

【研究主題】

創造活動を通して価値観を広げ、自己肯定感を高め合う生徒の育成

【研究副主題】

形や色彩などによるコミュニケーションを充実させる学び

公開授業

学級：2年3組 授業者：石橋 麻衣子



イメージを形にすると～松井守男の世界～

学習指導要領に示されている、第2学年及び第3学年の鑑賞活動の目標は、「造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めること。」とあります。しかしながら、生徒のどのような姿を「深まった」と捉えればよいのか、不安を感じたまま授業を実践している先生方も多いのではないのでしょうか。

そこで、本時は **自分や他者との対話を通して、作品の見方や感じ方を深める鑑賞の学び** を提案します。本題材では抽象的表現の中にある作者の心情や表現の意図と創造的な工夫について、形や色彩、構図などに着目しながら考えます。また、自分との対話から生まれた感じ方と、他者との会話から生まれた感じ方を比較することで、多様な見方や感じ方に触れ、自らの価値観を広げていく生徒を育成します。

鑑賞した作品を生徒が追体験することで、作者の内面に迫り、感じ取ったことを他者との対話を通して批評し合うことで、鑑賞の学習における見方や感じ方を深める授業を公開いたします。生徒が自分の中に、作品に対する新たな価値をつくり出そうとする学びの姿を御覧ください。

メタ認知との関わり

本実践では、鑑賞した作品を追体験する表現活動を行う場面を設定し、メタ認知的知識「形や色彩などから感じるよさや美しさを基に、外形には見えない本質的なよさや美しさを感じるとよい」を働かせることで、自らの見方や感じ方を整理できるようにします。

また、自他の考えを共有し、自分とは異なる感じ方や価値観に気づき、自らの見方や感じ方の変容を自覚できるようにします。こうした活動を通して、生徒は自分の感じ方を見直したり、広げたりしながら、主体的に学びを深めていきます。

詳細はこちら

長崎大学教育学部附属中学校研究発表会

令和8年6月26日（金） 9:20 ～ 16:10

